

核兵器禁止条約発効３年、さらに前進を

新しい年、2024年がはじまりました。

昨年は、ウクライナへのロシアの侵略が長引くなか、イスラエルによるガザへの軍事侵攻、市民への大量無差別攻撃という無法行為が起きました。これら人間の尊厳も、国際法も踏みにじる許しがたい行為に対し、国際社会は国連を中心に、ロシア軍の撤退、ガザ侵攻の即時停戦を求めつづけています。「国連憲章を守れ」「ガザ侵攻をいますぐやめよ」の声をあげつづけましょう。

核兵器の使用の威嚇もくりかえされました。核兵器は戦争を抑止するどころか、その戦争と殺戮、支配を強要する最悪の手段であることは明らかです。核兵器の非人道性を告発し、核兵器の使用と威嚇を禁止する核兵器禁止条約（TPNW：1/22発効3周年）が、核兵器保有国を包囲し、その
使用の手を縛っています。この力をさらに前進させることが、ことしの大きな課題です。

日本は「唯一の戦争被爆国」の役割果たして

昨年ニューヨークの国連本部で開催された（11/27〜12/1）TPNW第2回締約国会議には、59の締約国とオブザーバーとして35カ国が出席。市民社会の代表122団体も参加し、「核兵器のない世界」への希望を示す会議として成功をおさめました。日本政府は今回もオブザーバー参加さえ拒否しました。参加国から「なぜここに日本はいないのか」と不信の声があがりました。

日本政府が唯一の戦争被爆国として、また戦争放棄の憲法を持つ国として、核兵器禁止条約に
直ちに参加し、核兵器廃絶を先頭に立って世界によびかけることを求めましょう。

「日本は核兵器禁止条約に署名・批准を」の思いを署名に託してください。（2024・1・6）

2024年を核兵器廃絶の大きな前進の年に

日本政府は核兵器禁止条約に署名・批准を

**「日本政府に核兵器禁止**

**条約の署名・批准を求める署名」ページQRコード**

国連認証ＮＧＯ：原水爆禁止日本協議会（日本原水協）

〒113-8464　東京都文京区湯島２丁目４－４

TEL 03-5842-6031 HP: http//www.antiatom.org

E-mail antiatom55@hotmail.com

